

## 英語科学習指導案

日 時 平成16年10月13日(水) 5校時

学 級 1年A組

(男子13名 女子8名 計21名)

指導者 伊藤 彰子 イアン・リッジウェイ

1. 単元名 New Horizon Book 1 Unit 7 「アメリカの学校から」

2. 単元について

(1) 教材観

教科書 Unit 7では初めに世界の時刻や天気から、アメリカの中学校の生活スタイルについて扱っている。

本科の言語材料は、疑問詞 what(time), who, how, how(long), how(many)である。疑問詞については Unit 4の「日本大好き」のところで what と how many を取り扱った。疑問詞による質問に答えるためには Yes, No で答える形ではないため、なかなか定着しづらい。そのうえ、疑問詞は Unit 8で where, whose, Unit10では why と次々と登場する。ここでは、世界各地の時刻や天候を聞き取ったり、写真を見ながら誰かを当てたり、自分の学校の紹介文を英語で5文書いたりする活動が適している。

また、社会の地理でも時差を取り扱っているが、もう一度時差に触れることで地球は回転し、世界と日本では時間の差があるということを確認させたい。

(2) 生徒観

落ち着いた学習にしっかりと取り組む学級である。ほぼ全員が毎時間の予習を欠かさず行ってくるので、スムーズに授業に入りやすい。発言については一部の男子に限られ積極性という面ではかけているが、全員で声を出して確実に発音でき、一人一人個人的に当てると答えようと努力するので、教師側が常に声をかけながら全員を授業に参加させたい。ALT が週2時間授業にはいるので聞く力は高いが、書く力が弱いので活動のあとにはなるべく英語で書かせて振り返らせたい。支援の必要な生徒が数人いるので、活動に参加できるようにしっかりと支援を行いたい。

### (3) 指導観

疑問詞を含む文に対する答え方は Yes, No ではなく、適切な情報を答えなければならない。そのため疑問詞に対して苦手意識を持っている生徒が多いが、ひとつひとつ意味を確認しながら確実に身に付けさせたい。また時間を答えるとなると数字が言えなくて戸惑う生徒も多い。数字を定着させるために繰り返し数字を英語で言うドリルをじっくりと行いたい。生徒は必修・選択どちらの授業にも意欲的に取り組み学ぼうという姿勢を見せているので、一生懸命な面が発揮されると思われる。本時では ALT とのチームティーチングの良さを生かし、テンポ良く、魅力ある活動で生徒の興味を引きつけていきたい。

### (4) 選択教科との関連

ほとんどの生徒がアルファベットの読み書きや聞き取りでは高い力を発揮している。しかし、単語や英文を書くこと・読むことを不得意とする生徒が多い。選択では書くこと・読むことと必修で定着度の低い be 動詞・一般動詞に力を入れていきたい。本時の授業では時間の答え方でつまずくと思われるので、選択授業でもう一度数字を復習する必要がある。

特に支援が必要な生徒は YK と TM である。YK は選択も英語を選択しているが、まわりの生徒や教師のサポートにより学習させたい。TM についてもまわりの生徒と教師のサポートが必要である。

## 3. 単元の目標

### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・世界の時刻や天候について積極的に聞こうとしている。
- ・自分の中学校を紹介する英文を積極的に書こうとしている。

### 【表現の能力】

- ・時刻や天候を尋ねる言い方を使い、適切に応答できる。
- ・本文を正確に音読できる。

### 【理解の能力】

- ・世界の時刻や天候を正確に聞き取れる。
- ・本文を読んでインターネットや外国での生活について適切に読み取ることができる。

### 【言語や文化についての知識・理解】

- ・時刻や天候を尋ねる言い方の構造と意味を理解している。
- ・who を伴う疑問文の構造と意味を理解している。
- ・アメリカと日本の中学校の様子の違いを理解している。

4. 単元の指導計画と具体的評価規準（総時数8時間 本時1/8）

時数	学習内容	具 体 の 評 価 規 準			
		コミュニケーションへの関心・意欲	表現の能力	理解の能力	言語・文化についての知識
1 本時	時刻や天候についてたずねたり答えたりする。	世界の時刻・天候について積極的に聞こうとする。	世界の時刻と天候を尋ねる言い方を使い、適切に応答できる。		
2	「だれ」と尋ねるときにwhoを用いることを知る。		Whoを用いて、第三者のことについて適切に応答できる。		Who~?の疑問文と応答の形がわかる。
3	文化の異なる国の学校生活について理解する。		本文を正確に音読することができる。	本文からアメリカの中学校生活を読み取る。	
4		「放課後何をしているか。」の問いに対して間違いをおそれずに答えようとしている。		本文からアメリカの中学校生活を読み取る。	アメリカと日本の中学校の様子の違いがわかる。
5	学校を紹介する英文を書く。	学校の紹介文を積極的に書こうとする。	学校の紹介文を都道府県、生徒数などを英語で正確に6行書ける。		
6	まとめ		疑問詞の質問に適切に応答できる。		時刻や天候を尋ねる言い方・答え方がわかる。
7 8	起床から就寝まで一日の生活を英文で書き、発表する。		自分の一日の生活について朝から順を追って発表できる。	友達の一日の生活についてしっかりと聞き取れる。	

## 5. 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・ 世界の時刻や天候について積極的に聞こうとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 時刻や天候を尋ねる言い方を使い、適切に応答できる。(表現)

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価の観点	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	支援を要する生徒 (C) への手立て
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 日常場面で用いる時刻や天候の表現に慣れ親しみ、言語活動の中で積極的に聞こうとする。(行動観察)	日常のあいさつや時刻、天候の表現について、積極的に聞こうとしている。	日常のあいさつとともに時刻や天候の話題を聞こうとしている。	時刻や天候の表現について日本語でのヒントを聞かせる。
【表現の能力】 時刻や天候表現における It の特別用法を知り、さまざまな場面での時刻と天候の表現ができる。(行動観察・机間指導)	ワークシートの文例を使った対話表現において、発音やイントネーションが正確にでき、スムーズに楽しみながらできる。	ワークシートの文例を正しい発音で対話ができる。	ワークシートの文例を指導者やペアの相手の後について言わせる。

( 3 ) 本時の展開

	学習活動	教師の支援・ 教材教具等	評価項目
導 入 5 分	1 . あいさつ  2 . Quick Fire	元気にあいさつする。  英語で質問する。質問の意味をわかり、 挙手した生徒を指名する。  質問がわからない場合は、ヒントを 出す。	
展 開  展 開  38 分	3 . 今日の目標  4 . P 5 8 , 5 9 の覚 えたい語句  5 . 読み取り  6 . 音読  7 . P 5 9 の Listen  8 . アクティビティー	<b>時刻の尋ね方・答え方を覚えよう。</b>  フラッシュカードでいっしょに確認す る。  シドニーの時刻と天候は？ ニューヨークの時刻と天候は？  時差について触れたい。 ALT のモデルリーディングを聞き、後 に続けて読むよう指示する。  本文をペアで暗記する。暗記したら教 師のチェックを受ける。 読みが分からない生徒には読み方を 個別指導する。  世界各地のリレー中継を聞いて、表に 記入するよう指示する。  カードを見て何時か答える。(クイ ズ形式)  自分と同じ時間のカードの人を探 す。 下位の生徒に支援する。	時刻や天候を正確に 聞き取れたか。( 挙 手 )  時刻の尋ね方・答え 方をしっかり確認で きたか。( 行動観 察・カード )
終 末 7 分	9 . 自己評価  10 . 次時の予告 11 . あいさつ	自己評価カードを配る。コメントをし っかり自分の言葉で書くよう指示す る。	

板書計画

Friday, October thirteenth, weather, 1:42p.m.		目標 時刻の尋ね方・答え方を覚えよう
今日の覚えたい語句		
読み取りのポイント	目標	What time is it? (何時ですか。)
1.シドニーの時刻と 天候は?		It is eight o'clock. (8時です。)
2.ニューヨークの時刻と 天候は?	ポイント	~時...分と答えるときは It is(it's)時刻

座席表

教卓

TS	KA (英語)	YY	YK (英語)	TM	TR
	TH (英語)	TM (英語)	TT (英語)	SA (英語)	MY
TT	TH (英語)	TI	HT	KK	FK (英語)
	TT	SR (英語)	YK	TM	

【生徒が英語を選択した理由】

これまで習ったことと読み書きをしっかりと復習したい...SR, TM, YK, SA, KA, TH, TH

テストで点数を上げたい...FK

苦手だから...TT